

(様式専施設 4 : 3 枚)

日本障害者歯科専門医制度研修カリキュラム

(1) 年次カリキュラム (例)

	研 修 施 設	内 容
一年次	〇〇センター	協力性の高い知的障害者の口腔診察と保健指導がするように研修する。また初診患者の情報収集、問題点の抽出と対応の研修を指導医のもとで行う。センター内での症例検討会(学会発表に準じて)で発表する。
二年次	〇〇センター	昨年に続き初診患者を担当する。自閉スペクトラム症の患者への対応を研修するとともに不協力的な患者への対応や患者に関連する福祉制度について知る。BLS の研修を行い、緊急時の対応を身につける。
三年次	〇〇センターと連携研修施設の△大学病院障害者歯科	体動のある身体障害者や内科的疾患の合併している患者の情報収集、評価と対応を研修する。またモニタリングと笑気吸入鎮静法や経口鎮静法が実践するように研修する。摂食嚥下障害のある人への対応を指導医のもとで研修する。学会発表を行う。
四年次	〇〇センターと連携研修施設の△大学病院障害者歯科	精神障害を含め、様々な障害のある人の問題点と対応を明確にしたうえで歯科治療計画および管理計画を立案する。 学会発表を行い、その内容を論文執筆する。
五年次	〇〇センターと連携研修施設の△大学病院障害者歯科	障害の種類とレベルに応じた様々な行動調整法を研修する。障害者へストレスのない歯科診療の研修をさらに進める。研修施設での症例検討会や学会発表を行う。

(様式専施設 4 : 3 枚)

(2) 連携施設（例）

施設名（科）	所在地	研修内容
〇〇大学（障害者歯科）	〒☆☆☆ 〇〇県△△市 A 町 1－2	不協力的な患者の対応法や薬物的行動調整法

記入例を参考にしてください。他の研修施設がない場合、記入の必要はありません。

(3) 研修項目別研修カリキュラム (例)

研修領域	研修カリキュラム	当 施設	支援 施設
診療技能	<p>障害のある患者の人格を尊重し、必要な情報収集と障害および重症度の評価、頭頸部口腔診察および必要な身体診察を行い、問題点を抽出する。そして問題手に応じた対応法を実践することを身につける。さらにストレスの少ない、安全、効率的、快適な歯科診療を実践する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平易な言葉で患者や家族とコミュニケーションをとる。 2. 障害をめぐる患者と家族の解釈モデルと期待を把握し、適切に対応する。 3. 感覚を駆使し、診察用具を適切に使用して、基本的な診察を行う。 4. 対診・紹介を通して、医療者間の人間関係を確立する。 5. 治療が難しい患者への対応について地域の医療資源を活用する。 6. 診療録に利用価値の高い診療情報と問題点と対応法を記載する。 7. 対症療法を適切に実施する。 	○	
I. 障害者 歯科医療に おける倫理 と法	学会主催のセミナーを受講し、障害者歯科医療における倫理と倫理に関連する法について学ぶ。さらに患者を通して倫理的問題、倫理に関連する法、社会背景について学び、必要な支援法を学ぶ。	○	
II 神経発達 症群(神経発 達障害群)	患者の担当医として情報収集したうえで発達と障害を評価し、歯科治療への受け入れを見極める。受け入れ可能な患者には継続的なトレーニングを行い、視覚支援や行動変容法を含め、必要な対応法を実施する。受け入れが困難な患者は、薬物的対応法や医療連携を行う。本人と周囲環境を評価し、歯科的継続管理を通して保健指導を習得する。	○	
III 精神障害 者と歯科医 療	患者の担当医として情報収集を行い、常用薬の影響、疾患の重症度を評価し、適切な対応法と保健指導を行う。	○	
IV 身体障害 者と歯科医 療	患者を受け持ち、身体障害と合併疾患の評価を行い、歯科治療上の問題点と対応を列挙し、適切な歯科医療を実践する。また困難な患者を見極め、薬物的対応法の実践や医療連携を行う。摂食嚥下障害患者の検査・評価を行い、訓練を実践する。	○	
VI 症候群と 歯科医療	受け持った症候群の患者について文献検索を行い、概要を把握し、専門的知識を習得する。さらに問題点と対応法を挙げて、適切な歯科医療と保健指導を行う。	○	

VII 行動調整	歯科治療が困難な患者の行動調整法として薬物的行動調整法について研修する。		〇〇 大学 病院 障害 者歯 科
VIII 障害者歯科における医療面接と医療	初診患者を受け持ち、患者と保護者あるいは介助者とのコミュニケーションを確立させ、共感的態度で聴取し、信頼関係を築くことを研修する。またインフォームドコンセントの際には、患者本人に意思決定支援を行う。	○	
IX 医療安全管理	医療安全管理のリスク管理と事故への対処法、院内感染対策についてセミナーと小テストを実施する。当該施設や連携施設でのヒヤリハット事例に対してリスクマネジメントと対処法を学ぶ。また緊急時の基本的対応として BLS の研修に参加する。	○	〇〇 大学 病院 障害 者歯 科
教育カンファレンス	定期的に症例検討会を実施する。 専門医指導医による定期的なセミナーを実施し、最新情報を研修する。 地域の医療関係者によるセミナーの開催も行う。	○	
学術活動	学術大会総会に参加し、新しい情報を学ぶ。施設内の発表を通してプレゼンテーション法を身につける。研究や臨床集計をまとめ、学術大会で報告するとともに論文執筆を行う。	○	〇〇 大学 病院 障害 者歯 科